



# 児嶋よしひこ (志政会所属)

令和7年3月発行  
発行/静岡市議会志政会  
編集/志政会 広報部  
〒420-8602  
葵区追手町 5-1 本館 2 階  
Tel: 054-653-3412

## 議会だより

### 2月議会

令和7年2月議会が2月10日～3月6日まで会期25日で開かれました。  
私は2月19日の個人質問で登壇し、主に災害時のトイレについて、避難所での対応やトイレカーの運用等について質問し、防災に関する学習についても質問をしました。  
(以下は質問抜粋です)

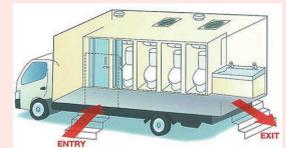


### 1. トイレカーの運用について

災害時のトイレの問題は、1995年の阪神・淡路大震災から昨年の能登半島地震まで30年間変わらず、流れないトイレで用を足し、トイレが汚物やゴミまみれになっています。ひどいトイレに行くのが嫌で、食料や水分を取ることを控え、更に体調が悪くなるというケースも多くあります。

災害時のトイレ問題に対して、私は令和5年2月にトイレトレーラーの導入を要望し、令和6年度中にトイレカーを1台導入することになり、加えて令和7年2月補正予算にて更に2台導入予定となっています。

また災害時には多くの避難場所が設置される中、どの避難所で活用するのか事前に検討しておく必要があります。災害時での活用はもちろんのこと、平時の活用として安倍川花火大会や清水みなとまつり等のイベント時や、河川敷でのスポーツ大会等でも活用できます。



トイレカーの例

**Q** 災害時においてトイレカーの設置場所はどのように決定しますか。また、平時はどのように利用していきますか。

**A** 災害時のトイレカー設置場所は、主に避難所での利用を想定していますが、どこに設置するかは、その時の下水道の被災状況等により、最も必要とされる場所へ随時、移動させ、有効に活用していきます。

平時利用としては、市内で開催される大規模イベントでの活用を想定しており、早ければ本年4月に開催される静岡まつりでの活用を目指し、安倍川花火大会や清水みなと祭り、大道芸ワールドカップ、静岡マラソン等でも活用していきたいと考えています。

### 2. 災害時のトイレの使用可否について

大きな地震が発生すると下水管が破損することもあり、基本的に確認がとれるまでは下水を流さないことになっています。地盤の隆起などにより、下水配管の高低差が変化すると下水が詰まり、場合によっては家庭内のトイレに逆流する恐れがあります。このような基本的な知識は平常時から市民全員に知ってもらうべき内容であり、加えて発災時には下水の状況やトイレの使用可否をいち早く伝える必要があります。

**Q** 災害時のトイレの使用可否は、平常時に市民へどのように伝え、発災時はどのように伝えていきますか。



**A** 平常時は、市HPや自主防災会などを対象とした出前講座等による周知を実施していますが、今後は出前講座にて携帯トイレの実演を盛り込む他、周知用のチラシを作成し、掲示するなどにより周知を強化していきます。発災時は、市HP、市LINE公式アカウント、静岡市防災ナビ等への情報掲載による周知を行います。これらの機器が使用できない停電時等には、ラジオ等報道機関を通じた広報、同報無線、避難所での情報提供、広報スピーカー付き公用車での呼びかけ巡回等により周知していきます。

### 3. 避難所での災害トイレの備蓄と運用について

令和 6 年 11 月定例会総括質問にて、災害用トイレの課題として、携帯トイレや簡易トイレの多くを集中備蓄しているため、今年度中に分散配置をするとの答弁がありました。また、避難所での災害用トイレの運用において、発災直後は通常のトイレを使わず簡易トイレ等を使うこと、仮設トイレや簡易トイレを手際よく組み立て設置することが重要となります。他の自治体の災害事例から、夜間のトイレ利用や男女別の利用なども考慮しなければなりません。

**Q** 集中備蓄している携帯トイレや簡易トイレをどのように分散備蓄していきますか。また、避難所における災害用トイレの運用方法はどのようにしますか。

**A** 現在、携帯トイレは日出町倉庫に 385,000 個、簡易トイレは清水消防署に 168 基を集中備蓄しており、本年 3 月末までに市内全学区・地区の指定避難所 77 施設に分散し、携帯トイレは 5000 個ずつ再配備していきます。

災害用トイレの運用方法は、発災直後は静岡市職員や施設管理者と共に自主防災組織が中心となって設置し、その後は、避難者の方々が、避難所の全体運営を行うなかで、災害用トイレの運用も行っていきます。



簡易トイレの例

### 4. 防災に関する学習について

以前視察で訪れた伊勢市の防災センターでは、市内の全小学生がこの防災センターを見学しており、座学での防災教育だけでなく、多くのことを体験できる教育は記憶に残りやすく良い取り組みだと感じました。静岡市にも「静岡県地震防災センター」が葵区駒形通にあります。避難所運営ゲームなどを通して、避難所では避難者が自分でできることは自分達で実施し、小中学生でもできることが多くあることが学べる良い施設だと思います。



静岡県地震防災センター

**Q** 市立小・中学校の授業において、防災に関してどのような学習をしていますか。

**A** 各小・中学校では、いつ発生するかわからない自然災害に備え、年複数回の避難訓練を実施しています。また、どこにいても災害から自分の身を守ることができるよう、ハザードマップ等を使った地域の危険箇所を知る学習を実施するとともに、家庭においても避難場所を決めるなど学校外での災害対応について指導しています。さらに、地域の実情に応じて、校外見学やテントでの宿泊等、防災をテーマとする学習に取り組んでいる学校もあります。

#### 【意見・要望】

- ・トイレカーの運用について、発災時にトイレカーを最初にどこへ設置するのか、各避難所の情報からどこを優先するのか、ある程度の優先順位を決めておいた方がよいと考えます。トイレカーの平時利用については、市民や各種団体への貸し出しもできるよう、ルール作りの早期対応をお願いします。
- ・災害時のトイレの使用可否について、大きな地震が発生すると下水管が破損することがあり、確認できるまで下水を使ってはいけないことを、平時からあらゆる機会を活用し、お知らせして下さい。また、発災時はより多くの情報伝達手段を使い、下水の使用可否を通知できる体制づくりをお願いします。
- ・避難所での災害トイレの備蓄と運用について、各避難所の携帯トイレが 5000 個では、避難所に来る市民が多い場合に足りなくなるので、災害の大きさや被災エリアの広さなど、様々な状況を考慮した備蓄をして下さい。発災時に災害用トイレの組立等を素早くできるよう、日頃の防災訓練時に確認できるようにして下さい。
- ・防災に関する教育について、静岡県地震防災センターを市内全小学生が見学するような防災教育の強化と、携帯トイレの使用方法を子どもの頃から慣れ親しめるよう、防災訓練の日に子供達に渡し、自宅で使用してみる等の取組みも検討願います。



静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。  
右の QR コードから、私の全質問項目が確認でき、本会議の動画もご覧いただけます。  
是非、ご覧ください。



こじま・議会動画



# 令和7年度当初予算一般会計 3,885 億円



令和7年当初予算の一般会計は3,885億円（前年度比+9.9%）で、過去最大を更新しました。

昨年9月に発表された「静岡市独自の人口減少の将来予測」では、今のまま何も対策を取らなければ、静岡市の人口は2050年には49.2万人まで減少、また少子高齢化が進行し、老年人口1人あたりの生産年齢人口が1.3人になるとの大変厳しい予測となっています。人口の流出に歯止めをかけるため、「**安心感のある温かいまち**」「**未来に夢や希望の持てるまち**」という2つの未来像に向かって政策を進めていきます。

## 「安心感のある温かいまち」「未来に夢や希望の持てるまち」の実現に向けて

令和7年度当初予算では、**5つの分野**に予算を重点配分し、積極的な財政出動を行います。

・「安心感がある温かいまち」の実現に向けて、「暮らしの安心感」「経済的な安心感」を高めるための取組み

- ① 子育て支援・教育の充実と健康長寿の推進
- ② 災害対応力の強化
- ③ 地域経済の活性化

・「未来に夢や希望の持てるまち」の実現に向けて、子どもや若者がこのまちに住み続けたいと思うことができ、将来にわたって持続可能な街づくりを推進するための取組み

- ④ 文化・スポーツを活かした街づくりの推進
- ⑤ 社会変革の推進



## 子育て支援・教育の充実と健康長寿の推進

### ■ 緊急時のあんしん預かり保育 … 4,633 万円

登園後の子どもの急な体調不良時に、保護者がお迎えに行けない場合に、かかりつけ医等への診察付き添い、病児保育の実施まで一連の対応を行う病児・病後児保育施設を開設します。

【定員】3名 【実施体制】保育士1名 看護師2名

【**現在設置されている静岡市の病児・病後児保育室**】

病児・病後児保育室「輝き」
東草深町 定員：4名
駿河病児・病後児保育室「このとり」
駿河区高松 定員：3名
清水病児・病後児保育室「虹いろ」
清水区天神 定員：3名



詳細は**コチラ↑**  
2月より**予約システム**  
が導入されました

※こちらは事前にかかりつけ医等を受診した体調不良の子ども預かりです

### ■ 認知症の早期発見・予防 … 3,854 万円

高齢化に伴い、市内の認知症高齢者は増加しています。認知症の一步手前の段階であるMCI（軽度認知障害）での対応により、16～41%の人は認知機能が回復するため、早期発見・早期予防の取組みを行います。

- ・かかりつけ医による「もの忘れ健診」の無料実施  
対象者：静岡市在住の65歳以上の方（年に1回）



### ■ 発達が気になる子どもの 受診待機の解消…1,720 万円

現在、発達が気になる子どものアセスメント（特性等の評価）について、受診待機期間が長期化しています（最大10ヶ月）。アセスメントを行う心理士等を配置した専門機関を設置し、アセスメントを早期に行うことで、医療機関での受診待機期間の解消を目指します。

## 災害対応力の強化



### ■ 避難所の環境改善 …1 億 4,621 万円（2月補正）

令和6年の能登半島地震の教訓を踏まえ、T（快適なトイレ環境）、K（温かい食事や多様なメニュー）、B（プライバシー確保、入浴環境）等の避難所の生活環境を抜本的に改善する必要があります。国の補正予算を活用し、トイレ環境の改善やプライバシー確保のための資機材を整備します。

- ① トイレカーの整備

2台（1台はR6年度整備済） 計3台

- ② テント式パーティションの整備 2500張



トイレカーイメージ

### ■ 上下水道管・施設の地震対策 …71 億 7,737 万円



耐震化された水道管

上下水道管の耐震化率は、令和5年度末で、水道が40.9%、下水道が70.7%となっています。こうした中、災害拠点病院等の重要施設を經由するルートの耐震化について、上下水道一体で優先的に実施します。

- ・城内系統、八木間一富士見が丘系統 ほか

### ■ 内外水ハザードマップの作成 … 7,160 万円

内水及び外水を統合した分かりやすいハザードマップを作成します。水害リスクとともに、避難場所など一目で確認できます。

## 地域経済の活性化



### ■ 土地等利活用の推進…1億1,800万円

建設発生土の処分場を清水区三保(貝島地区)に新設し、市内の建設発生土を受入れます。処分場は将来、企業立地用に造成する考えで、造成の事業費の一部を土砂の受入れ料金で賄う予定です。

### ■ 静岡駅北口地下広場の改修…2億2,000万円



静岡駅北口地下広場(しずチカ)は、静岡市の玄関口であるものの、静岡市らしさを感じられないものとなっています。しずチカのデザインを一新し、伝統工芸を連想させる繊細で柔らかいデザインとします。

【事業期間】 令和7年度～8年度

### ■ 企業立地の促進…14億円(拡充)

市内に工場等を設置し、市内進出する企業等に対して、用地取得や設備投資にかかる費用等を助成します。来年度より企業に対してより迅速な初期投資を行います。

### ■ プレミアム付デジタル商品券の発行…9億1,500万円(2月補正)



昨年発行した「しずトク商品券」を令和7年度も発行します

【対象者】 市内在住者

【販売額】 1口6,250円分の商品券を5,000円で販売

【購入上限】 1人4口まで(希望多数の場合は抽選)

【発行口数】 60万口

【利用可能期間】 令和7年7月～10月までの4ヶ月

## 文化芸術・スポーツを活かしたまちづくり



### ■ アリーナ整備、東静岡まちづくりの推進…11億3,020万円(債務負担行為300億円)

アリーナを核とした東静岡のまちづくりを一体的に進め、商業、教育等の充実した都市機能と快適な住環境を兼ね備えたまちへの発展を目指します。

#### ① アリーナ建設・運営

令和7年度は事業者の募集及び選定を行う

#### ② アリーナ建設用地に向けた用地取得

#### ③ 東静岡地区まちづくり基本計画の策定

#### ④ ペDESTリアンデッキの基本設計 等

### ■ 駿府城跡天守台の野外展示…4億8,059万円



駿府城跡天守台では、6年間にわたり発掘調査を行い、天正期と慶長期の2つの時代の天守台を発掘することができました。駿府城跡天守台の遺構を間近で見ることができる野外展示場を整備します。

#### 天守台野外展示のイメージ

#### ① 駿府城跡天守台の野外展示 令和9年度供用開始予定

#### ② 当時の駿府城の天守をイメージできる最新のVR・ARコンテンツの制作

## 社会変革の促進



### ■ スタートアップ協業の推進…2億8,405万円

#### ① スタートアップコミュニティの形成

・スタートアップに関わる様々な関係機関とのネットワーク構築、強化

・静岡市へ進出するスタートアップに対して事務所賃料を2年間補助

#### ② 知・地域共創コンテストの開催

#### ③ 市内イノベーション創出の支援 等



昨年のコンテストの様子

### ■ 子育て世帯への宅地提供…3,321万円

生活利便性の高い市営住宅の跡地を、新たな住まいを求める子育て世帯へ優先的に売却します。

#### 【売却内容】

・堤町団地跡地 24区画(葵区堤町)

・1区画当たり約110㎡(36坪)

・令和7年10月以降 売却開始



## 総務委員会

総務委員会所管の令和7年度当初予算について審議し、下記のような意見要望を伝えました。

- ・アリーナ建設事業について、地域住民の渋滞の懸念を減らすため、国道1号線の信号時間の調整等、関係部署と連携し、まずは現状のマークイズ渋滞の対策を実施してください。
- ・ふるさと納税について、魅力的な返礼品を増やすため、静岡でしか入手できない限定品プラモデル等の検討と、普段は入れない工事現場ツアーなどの体験型返礼品も検討ください。
- ・災害時協力井戸はWEB上の防災マップに掲載していますが、発災時に場所がすぐわかるよう、分かりやすい看板表示や、スマホを使いこなせない人向けへの対応をお願いします。

